

3 協働事業結果報告書  
 (2) こうとう子育てメッセ

平成 29 年 3 月 31 日

江 東 区 長 宛

団 体 名 ママリングス

団 体 所 在 地 東京都江東区猿江 2-10-9

代表者職・氏名 落合 香代子

### 協働事業結果報告書

平成 28 年度江東区協働事業提案制度採択事業の実施について、次のとおり報告します。

|   |  |
|---|--|
| 事業名称  | 「こうとう子育てメッセ」   |
| 事業の実施期間   | 2016 年 4 月 1 日 ～ 2017 年 3 月 31 日   |
| 実施事業の概要<br><br>※詳細については「具体的事業内容」に記入し、ここでは要約して欄内に収まるように記入してください。 | <p>主に未就学児を持つ保護者とそのこどもを対象に、子育てに対する孤立感や不安感を解消する目的で、地域の子育て支援情報の発信拠点となるイベント「こうとう子育てメッセ」を区と共に企画し、企業、NPO 等の協力を得て開催した。地域の中で、児童虐待の未然防止（予防）を行うには、特に子育てのスタート期にある乳幼児の子育て世帯に向けた子育て支援情報の発信と地域のつながり作りを図ることが重要である。</p> <p>児童虐待の予防には、行政（公助）・地域（共助）が子育て世帯を支えることが重要であり、また、子育て当事者自らが自助力を持つことが重要である。自助力とは「自ら助けてと言える力」である。子育て支援には、「サポートと子育て支援情報を提供すること」を中心としたものから、子育て当事者の「自助力を育む新しい子育て支援」が求められていると言える。</p> <p>ターゲットは、未就学児の親、外国人の親、転入世帯、社会的養護に関わる当事者など、地域に地縁のない子育て世帯。</p> <p>子育てメッセというイベントの企画運営を通じて子育て当事者の横のつながりを作り、また来場する保護者同士の横のつながりをつくる契機とする</p> <p>また、メッセ開催に向け、その前後で実行委員を対象とした勉強会、ワーキンググループ（以下、WG）全6回を開催した。</p> <p>また、メッセの開催と江東区の子育て支援情報を発信するホームページを立ち上げた。</p> <p>また、実行委員の声を中心とした成果物を作成した。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>具体的事業内容</p> <p>※実施時期・従事者・参加者・実績などを具体的に記入してください。詳細を別紙として提出することも可能です。</p> | <p>参加実行委員 56名。<br/>         こうとう子育てメッセの開催報告詳細は別紙、報告書にて記載。</p> <p><b>【部門別の活動】</b><br/>         WG 部門・広報部門・渉外部門・講演会部門・HP 部門・出店部門<br/>         企画部門・外国人部門・地域福祉部門・会計部門<br/>         ＊それぞれの活動については成果物と工程表を参照のこと。</p> <p><b>【WG の開催 全 6 回】</b><br/>         ファシリテーター 青木 将幸氏・西 直人氏<br/>         第 1 回 5 月 8 日 「自己紹介」 ( 62 人)<br/>         第 2 回 5 月 9 日 「知ろう！子育てと江東区のこと」 ( 39 人)<br/>         第 3 回 6 月 8 日 「こうなりたい。未来の江東区の子育て」 ( 38 人)<br/>         第 4 回 6 月 22 日 「やってみよう。未来の江東区の子育て」 ( 25 人)<br/>         第 5 回 9 月 4 日 出展者説明会「はじまります こうとう子育てメッセ」<br/>         ( 70 人)<br/>         第 6 回 12 月 13 日 「つなげよう こうとう子育てメッセ」 ( 28 人)<br/>         スピンオフ 8 月 20 日 「チャイルドファースト project」 with 「こうとう子育てメッセ 2016」 ( 33 人)</p> <p><b>【勉強会】</b><br/>         第 1 回 5 月 29 日 マナー講座・「メッセ実行委員 10 か条」<br/>         第 2 回 7 月 31 日 講師は、外国人の母 2 名・シングル母 2 名。<br/>         第 3 回 8 月 3 日 講師は、社会的養護」施設養育を受け自立した当事者・養育里親。</p> <p><b>【HP 部門】</b><br/>         WG・勉強会・コラム記事の発信など。<br/>         ＊ホームページを別紙にて添付。</p> |
|--|--|

## 事業の成果

※この事業で取り組もうとした課題は、どこまで達成できましたか。

### 【虐待の一時予防 -地域に子育てのつながりを作る-】

1. 子育て当事者同士のつながりを作る  
地域全体の子育て当事者のつながりをつくる、という点では、メッセ、HP というツールを確立できた。そこから新たな課題も見えた。  
本事業の告知等を主に FB、製作した HP 上にて行った。メッセ実行委員間では繋がりができ、それぞれ発展的に交流が深まっている。地域の中で人と人が出会うことで新しい動きが生まれることが見て取れた。また、メッセといういわゆる “ママイベント” の様相を呈しながらも、地域の課題解決を目的に実施運営していることは実行委員に認識され、それぞれのメンバーの課題解決意識を育てることができた。その中から自ら発信する人、新たに興味を持つ人などが現れた。
2. 子育て支援団体同士のつながりを作る  
子育て支援団体4団体がワーキンググループ（以下、WG）に参加。当日メッセには6団体が参加。子育て当事者が発信することの意義については理解が深まったように感じているが、団体同士がつながりを持つことの意味は理解はできても実践は難しいという意見があった。今後意見を集約し、現状の課題を特定していく必要があることがわかった。
3. 行政と子育て当事者間のつながりを作る  
WGを通じて、メッセ実行委員、子育て支援団体が共に顔を合わせ意見交換をする時間を6回設けた。子育て支援課担当者の積極的な対応に出席した区民が非常に関心を高く持って活発に意見をしている様子が見られた。メッセ当日には子育て支援課を含む13課がメッセに参加し、市民へのアピールの機会が作れたと思う。積極的な行政の姿勢は市民に安心感を生んだと言える。

### 【新しい子育て支援の形を作る】

1. (公助) 子育て支援情報の発信と交流  
メッセ当日には、区内の子育てに関わる13課が参加した。それぞれに子育て支援情報を発信する機会を作れた。また子育て中の当事者に向けたはまだ情報が整っていない、という課題認識をしていただく機会にもなったのではないかと考える。互いの連携をさらに強めていく必要なども考えさせられた。
2. (共助) 地域の子育て情報の発信  
運営団体のママリングスも含め、7つの子育て支援団体、その他、地域で子育て情報を発信している教室、サークル、起業中の母親らが参加した。江東助産師会・江東区医師会・東京都江東区歯科医師会の参加協力を得た。江東児童相談所と連携することができた。
3. (自助) 地域の子育て情報を生かすことはどこまでできているのか。現状把握をどのように測るのか。  
「こうとう子育てメッセ」では、子育て当事者に向けた情報発信を目的としたイベントである、というツールと打ち出しはできた。

### 【子育て当事者が子育て支援に今求めているもの】

1. 子育て当事者の意向（ニーズ）をどこまで反映できたか  
外国人で子育て中の方に向けたアンケートの実施、社会的擁護勉強会、シングルペアレントの勉強会を開催し、地域の中の課題認識を広げられた。発達障害の子を持つ親の子育て、幼児期のLGBTとの向き合い方、母親のキャリア支援、父親支援、妊活など、様々な個別の課題についても発信する機会を設けた。

|  |   |
|--|---|
| <p>協働の効果</p> <p>※区と協働したことによって、どのような効果が得られましたか。</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 広報の力。周知力・他への協力依頼、区民祭り・こどもまつりなど発信機会の提供には大きな役割を担っていただいた。</li> <li>2. 公募によって当初の予想の2倍以上の実行委員が集まった。それによって、実行委員を中心とした多くの子育て当事者に対して、乳幼児期の子育てに起こりうる課題について考える機会を与えられた。</li> <li>3. 区が企画以上に積極的に関わったことによって、担当課を超えた課との連携や意見交換が図れた。公助を地域に発信していくには、行政の協力は欠かせない。また担当者が企画の意図を理解し、担当課としてできうるだけのことをやり良いものを作ろう、という姿勢を貫いていただいたことがこの事業を成功に導いたと考える。</li> </ol> <p>そのため、課題として上がったことも、次年度へのステップ、目標と捉えることができた。</p> |
|--|---|

|   |  |
|---|--|
| <p>今後の活動展開</p> <p>※この事業で取り組んだ課題に対し、貴団体は今後どのような活動を展開していきますか。</p> | <p><b>1. 子育て当事者への情報発信</b><br/>         子育て当事者に対して、情報拡散に使用していた FB や実行委員を通じ本事業に対する興味関心が地域で広がっている様子は見受けられたが、継続的な情報発信という意味ではマンパワー的な問題から課題を残した。<br/>         子育て支援当事者のつながりをつくる、という点では課題が見えてきた。それぞれの支援団体に活動の余裕がなく、それぞれの団体の活動にメリットの見える形でないとは協力していただくのは難しいことがわかった。<br/>         子育て当事者、支援団体共に行政と連携を図ることには興味関心を強く持っていることも見てとれた。</p> <p><b>2. 子育て当事者・支援者・行政との連携</b><br/>         子育て当事者、子育て支援団体、行政との繋がりを作る上で、何が現状課題になっているのかアンケートなどで見える化を図り、現状の課題解決につなげたい。協力団体制度を設けたい。<br/>         また「江東子育てネットワーク準備会」を他団体、他の支援者とともに別途発足した。「こうとう親子センター」代表 藤沢千代勝氏と共同代表として平成 30 年 3 月の「江東子育てネットワーク」発足を目指す。</p> <p><b>3. メッセとホームページとの連動</b><br/>         子育ての繋がり、地縁のない子育て当事者のため、何よりも、こどもが安心・安全ですこやかに地域で育まれるために必要である。子どもを育てる責任は親にある。その親を地域がサポートすることですべてのこどもたちがすこやかに育まれる社会づくりにつながる。「こうとう子育てメッセ」「こうとう子育てびより」は江東区の子育てに繋がりを作るためのツールである。<br/>         このツールを生かすことで、<br/>         年間 1 日のイベントである「こうとう子育てメッセ」という非日常を、日常の子育て、生活にどう繋げていくのか、その仕組みをつくるのが平成 29 年度の課題である。</p> <p><b>4. 他の専門職、組織との連携（こども虐待予防防止の発信）</b><br/>         また平成 29 年度は、こども虐待の一次予防であるこれからの情報発信の一連の取り組みについて、学術的な検討や、学生との関わりによるさらなる活性化を図りたい。<br/>         専門家や学生との連携を図る。<br/>         平成 28 年度に成立させたこれらのツールを使い、さらに地域に向けた子育て情報発信の形、すべてのこどもが安心・安全・すこやかに成長できる地域を作っていきたい。</p> <p><b>5. 子育てメッセ実行委員会の組織構築</b><br/>         本事業は、事業提案団体のママリングスが企画運営して実施された。未就学児の親を子育て支援の中で主役に、未就学児の親の声を届けることが子育てを変える、と考え企画してきた。<br/>         しかしながら、未就学児の親は状況が変化し継続的な運営が難しい。継続的な運営を可能とする実行委員会の体制を構築していく必要がある。<br/>         また、実行委員長、実行委員は必ずしも当該事業内容の経験の有無を問わないものである、どんな人でも実行委員長、実行委員になれる仕組みも必要である。<br/>         そこには、継続的に江東区内の子育て支援の活動を継続する支援団体と支援者の協力が不可欠である。<br/>         今後、誰が変わっても遂行可能な実行委員会組織を構築することが肝要である。</p> |
|---|--|

|   |  |
|---|--|
| <p>自由意見</p> <p>※事業実施を通じて気づいたこと（新たな課題、実施体制、参加者の声等）を記入してください。</p> | <p>乳幼児を抱えながらの子育て「子育てのスタート期に、地域の子育て支援情報をまとめて見ることができたら。」</p> <p>行き詰まっていた頃、子育て情報をようやく手に入れた時「みんなが子育てを応援しているとわかっていたら。」そんな風に思ったものでした。</p> <p>これは、ほぼ大多数の親の間で共感できることではないかと思います。</p> <p>この「共感性」が実行委員を担うことともに何かを作り上げる力になります。</p> <p>地域でつながること、子育て支援情報を届けることは乳幼児期の子育て中の親にとって必ず力になると思います。それは子育て中の親にとってのエンパワメントにもなります。</p> <p>一方で、この「共感性」は子どもの成長とともに簡単に失われていきます。</p> <p>子育て支援情報から、「働く、社会参画」の課題へと意識が変化していきます。</p> <p>これは、女性にとってごく当たり前の意識変化だと思います。</p> <p>地域の子育ての課題に共感性を残すには、最も課題意識を強く持っていた時に課題解決に参加できる機会があることが重要です。</p> <p>そうした意味で、行政の課をまたいだ子育て中の親に発信する情報を一堂に送ることは大きな意味があると思います。そして、こうした事業は関心が移り変わる乳幼児期の子育て中の親の力だけでは成り立つことはできず、行政、子育て支援団体、企業を含め地域の多世代で支えていく必要があります。</p> <p>自身が弱者になった時に助けられた経験と支援の輪は必ず循環し、高齢者介護、障害者支援、災害時など、地域の助け合いに功を奏すると考えられます。</p> <p>また、子どもの育てにくさ、不適切な養育、虐待、夫婦間のすれ違い、DVといった課題は子育て中の親だけでなく、社会にとっても解決が必要とされる課題だと考えられます。</p> <p>ぜひ、今後も継続的に課を超えたく全体の取り組みとして「こうとう子育てメッセ」にご協力をいただければ幸いです。</p> |
|---|--|

※ 事業の成果物（冊子等）、参加者アンケートの結果、写真など、提出できるものがある場合は添付してください。なお、ご提出いただいたものは返却できません。

情報提供ありがとうございます！  
掲載できなかった物も順次HPに上げる予定です。

HPでも情報を募集しています！  
www.koto-kosodate.com/  
新しい情報確認・情報提供はこちらのアドレスまで  
koto.kosodate@gmail.com

**1 Fun Merry Cafe**  
(ファンメリーカフェ)  
大人のロフトキッズスペース  
あり、お母さんちゅっくり遊ばせ  
ます。

江東区石島24-8三木ビル101  
TEL:03-6315-9130

**2 Cafe&Bar Field**  
小上がりの座敷があり、キッズ  
メニューもあります。

江東区三好3-3-17  
TEL:03-6458-8300

**3 Organic Cafe Lulu**  
水産公園側。食材は全てオー  
ガニックで安心、ゆったりのん  
びりできます。

江東区木場5-6-30  
TEL:050-5789-1603

**8 BOSSO**

豊洲近くの豊洲フロント一階  
のイタリアンレストラン  
キッズメニューあり、スナック  
カードを兼ねると、七夕作り体  
験に参加できます。

江東区豊洲3-2-20  
TEL:050-2018-7432

**9 Shumore Portare**  
(シュモレポルタール)  
美容院、ネイル、マッサージ有り。  
託児も有料ですが、キッズ  
カード、赤ちゃんのグッズもあり  
ます。

江東区豊洲1-6-19  
TEL:03-5859-5979

**13 よっちゃんち**

月曜日10:00-14:00が子育て  
サロンもカフェにもなっています。  
縁側のある純和風の家でゆっく  
り出来ます。

江東区豊洲7-9-13  
TEL:03-3644-9264

**12 Hair FAIRE**

子供用カットもあって、値さない  
ようじカット動画を見せて  
もらえます。店長さんも店員さん  
も優しい。

江東区豊洲7-1-25南砂公園 カ  
ーニア101  
TEL:03-6666-3547

●深川北部●城東北部  
●深川南部●城東南部  
●臨海部



**4 亀戸中央公園**

広いよ！桜もあるよ！総武線も  
見られます。

**5 亀戸-大島緑道公園**

春は桜、秋は落ち葉を見ながら  
お散歩を。

**6 レストラン・ピガール**

キッズスペースがたても広く、  
いつも子ども達も楽しんで行きた  
がります。ランチが安くお得  
です。

江東区亀戸6-32-1-1F  
TEL:050-5827-0299

**7 目利きの銀次**

キッズルーム付きの居酒屋！！  
居心地すごく良いです。

亀戸5-1-111亀戸ビル7F  
TEL:03-3684-6988

**10 TEQ TEQ**

飲み物のみ注文・持ち込みOK。  
オムツ替え台・おしり拭きも有り。  
ゴミも持ち帰り無し！子育て  
気軽に過ごせます。

江東区北砂2-9-5 1階  
TEL:03-3640-1261

**11 城東公園**  
(通称・交通公園)

自転車や三輪車を借りて練習で  
きる。東砂スポーツセンターの前  
にあり、夏は水遊びも出来る。

江東区の  
子育てメッセが  
はじまったよ！



あつまれ みんなの笑顔！

子育て、一人じゃないよ。子育て、みんなで考えよう。

「みんなのまち」を、育てたい。

子育てメッセ 2016

2016年11月27日 (日) 10:00-15:30

ママリングス 江東区 こうとう子育てメッセ実行委員会



● 出店部門もまたメッセの要となる重要部分を担いました。

- 出店団体さんとの細かなやり取りや概要作成などを作成したりとメンバーが分担して協力しました！！
- 出店説明会では50団体もの皆さんの前での重要な説明をさせて頂くとという貴重な機会も頂きました。ママになっても褒めてもらえる素敵な体験でした！
- とてもやりがいのある部門だったと思います。

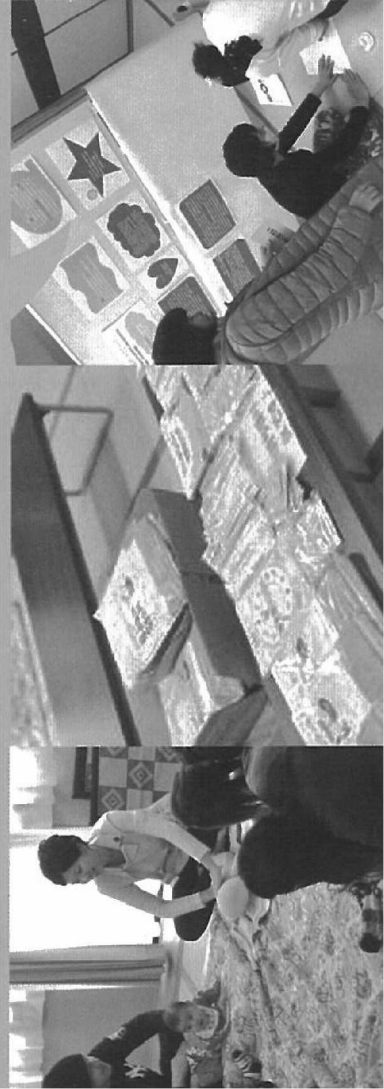
● 出店部門 小松 愛



● 企画部門の一つの〈おっぱい部屋〉では産前産後、卒乳後のおっぱいのことやそれに付随したミルク、混合、離乳食、搾乳、乳がんのこと等、この時期ならではの悩みや疑問を少しでも解消してもらうために企画しました。お答えいただくのは助産師さん、保健師さん、栄養士さん、メーカーさん。

● 様々な方面から話を聞きご自身で答えを見つけていただけられるスタイル。当日はたくさんの方にお立ち寄りいただきおっぱいトークの花が咲きました。

● 企画部門 樋口 聖子



## 講演会部門は、

● コメンテーターなどでおなじみ産婦人科医 宋美玄先生 NHK Eテレにて活躍されている ねんどル 岡田ひとみさん に出演して頂きました。講演会部門では、ゲストの選考から依頼、当日の会場の運営まで全般的に担当。全員一歳～五歳の子供を持つメンバーで、子どもや家庭の急なトラブルもお互いフォローし合いながら進めること出来たと思います。来場した子どもたちやママやパパが満足されている笑顔を見て 自分で企画した達成感がありました！

● 皆さんも、ぜひ挑戦してみてください！

● 講演会部門 湯本 香奈美



● 産婦人科医 宋美玄先生



● 出店者さんのおはなし  
**ことのお口のケアって  
 どうでしょう？**



● 一般社団法人東京都江東区産科婦人科医会 公衆衛生理事  
 医療法人社団産科婦人科医会 院長 青木仁先生

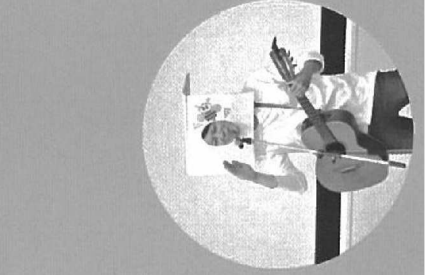
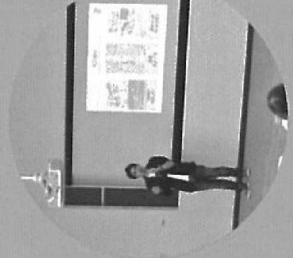


● ねんどル 岡田ひとみさん

● お医者さんのおはなし  
**どうする？こんな時！  
 こともの病気の対処法**



● 有明ことものクリニック 副院長 小暮裕之先生



- 「子どもの歯のケアはどうしたらいい？」 「急な発熱やケガ、対処方法を知りたいな」
- 「話題のおむつなし育児の話を知りたい！」
- 「子どもと一緒に楽しく歌って盛り上がりたいな」
- 「産後の夫婦のお話、聞いてみたい」 ……
- 子育て真っ最中の実行委員のこんな声から生まれた企画が盛りだくさんでした。
- 講演では熱心にメモをとられている方が多く、子育て中の方が必要としている情報を届けることができました。ではないかと感じました。
- 企画部門



## 外国人の子育て

7月には外国人勉強会を開き、2人の(中国人)ワーキングマザーからお話をお聞きました。どんなに日本語が堪能しても、日本の文化について、戸惑う場面が多いようです。異文化での生活に馴染めるように、外国人のために何らかのサポートネットワークができないかと思っています。8月には子育てしている外国人の方へアンケートを実施し、100枚配布のうち回答してくれたのは48人でした。予想通り、やはり一番困っている子連れでも日本語の勉強ができる場所やイベントがあったらいいなあと思っています。

外国人部門 榎 玉暁 (ようざまきょう)

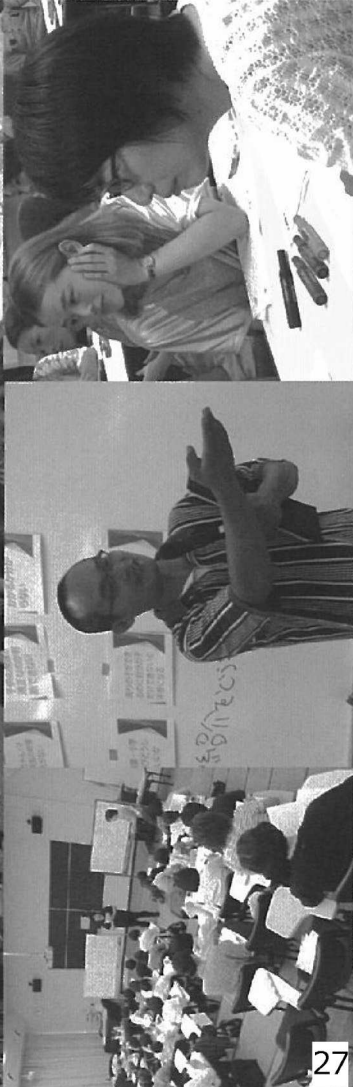
## 社会的養護 シングルペアレント

— 全ての乳幼児を子育て中の方々に向けた子育て支援情報発信を —

社会的養護、シングルペアレント、外国人の子育て。子育てが始まったばかりは誰もが不安になります。目の前のその子の子育てが初めてなのは誰もが同じ。そんな時、もし血の繋がっていない子を我が家へ迎えるとしたら。もし、生きる道が別々になり一人で子育てをすることになったら。もし、文化も習慣も違う、そして言葉のわからない土地で子育てをすることになったら。初めての子育てでは、もっとも困ったことや、疑問や、自分の中にそっとしまっておくそんな気持ちも出てくるかもしれません。

「こうどう子育てメッセ2017」では、江東区子育て支援課と江東児童相談所とともに養育里親体験発表会を開催し、「社会的養護」の一端をご紹介します。実行委員勉強会では、シングルペアレントの子育てについても知る機会を設けました。

ひょっとしたら、家族のなかで里親体験発表会



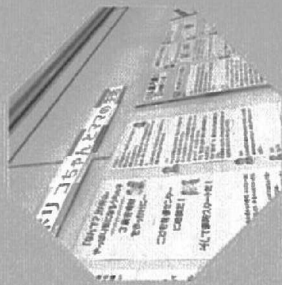
## 【子育てメッセの土台? WG部門】

作春、2歳児をかかえてワーキンググループ部門の担当になりました。6回のWGでは、「実行委員メンバー」「民間の子育て関連部署」が集まって、メッセに向けての企画アイデア出し、キャッチコピー作りなどをして行きました。話し合う中で、つながりも出来、他の人のアイデアも面白く、毎回楽しい会になりました！

9月4日の出店団体を混じえた回では、各団体が「自団体に出来る子育て支援」をその場で考えて発表！

「ビル合戦となり、とても盛り上がりました！」  
 然としていた「子育てを応援するってどう言う事？」の、一つの答えが見えた回になりました。  
 た、WGを進める中で、会議進行のプロであるフアシリターターさんのワザに驚いたり、行政さんの積極的な姿勢を感じることができました。  
 事前準備は大変でしたが、やった甲斐がありました。  
 2017年もWGを予定しています、実行委員になった方には是非参加してもらいたいと思います！

WG部門  
下島 真希



## 子どもの発達「イロドリコちゃん」の生活

発達障がいをお持ちのお子さんとお母さんのお話を元に、出産から発達障がいと診断されるまでや、療育へ通い始めてから今現在までの成長していく姿や子育て生活を、作業療法士でもあるママ友と振り返りました。沢山のエピソードから「こんなことがあるのか!」

「影(いろどり)のあるおさんとの生活、子育てをしている方がいる」ということを、一緒に過ごしている地域の方々に向けて頂きたいと思いました。と同時に、子どもにとって過ごしやすく、すぐすぐと成長できる環境を作っていけたら...そんな願いを込めて活動させて頂きました。

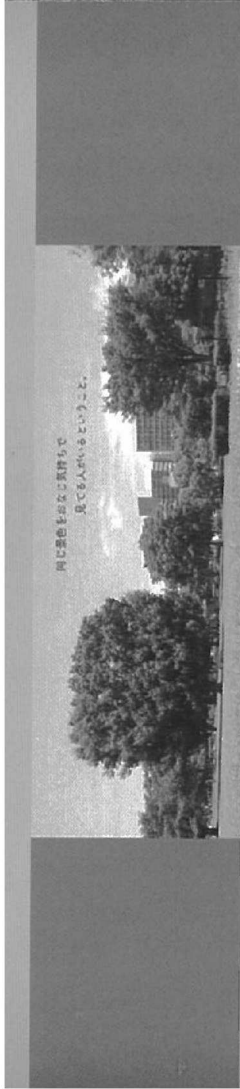




「こうとう子育てメッセ 2017」は、  
2017年11月12日（日）開催です。  
お問い合わせは [kotokosodate@gmail.com](mailto:kotokosodate@gmail.com) へ。



江東区の子育てお役立ち情報  
「こうとう子育てびより」  
<http://www.koto-kosodate.com>



HP部門もまた、実行委員会の中で、外に向けていち早く発信した部門の一つだったかたもありません。なぜなら、実行委員募集告知をHPで行うという役割がありました。

実行員準備から実行委員会の活動に参加した私。  
「子育て情報を発信するサイトを作ろう！」となった時に、協働事業団体のママリングスの代表とメッセ委員と私の3人と  
どういHPにするのか？というところから話合いました。

ワーキングマザーの私は、WGや勉強会など、あまり参加することができませんでしたが、このHPのコンテンツが増えていくにつれて、多くのメンバーと交流を持つことができました。

HP部門ではワードプレス勉強会も企画してもらい、有意義な時間を持ちました。

TOPページの写真に、モデルとして実行員メンバーに協力してもらい撮影をさせていただいたのも思い出です。

いろいろな子育て情報が錯綜している時代ですが、より良い情報が広がるように「こうとう子育てびより」が成長していくことを願います

「こうとう子育てびより」って??

「こうとう子育てびより」では江東区の子育て支援情報やコラムをお届けしています。  
「こうとう子育てびより」で検索してね。



HP部門 伊勢崎 紀子

「こうとう子育てびより」では、皆様からの子育て情報を募集しています！  
お問い合わせは「こうとう子育てびより」 [koto-kosodate.com](http://koto-kosodate.com)

江東区協働事業提案制度 平成28年度実施事業  
江東区区民協働推進会議委員意見書

|              |                                 |     |            |
|--------------|---------------------------------|-----|------------|
| 事業名          | コミュニティガーデンによる花とみどりに彩られたまちづくりの推進 |     |            |
| 団体名          | みどりネットKoto                      |     |            |
| 担当課名         | 施設保全課                           | 関係課 | —          |
| 事業費<br>(予算額) | 1,933,840円<br>(2,030,648円)      | 行政  | 1,933,840円 |
|              |                                 | 団体  | 0円         |

※ 事業費には、行政が直接負担した会場・器具使用料を含みます。

**◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見 ◆**

・協働することで、行政が受け身でなくなり、行政が持つソフト面の力の提供につながったことは評価できる。

・全体としては計画に沿って進められ、協働事業としても成功したと評価できるが、活動を通じて豊かな区民生活に結びつくような仕掛けがあるとよい。協働事業としての実績が、行政の具体的取り組みにつながったことは大変意義深い。

・子育て世代のコミュニティの場としても活用できるとよいと思う。

・これまでも長年連携してきた区と団体にとって、本事業が更なる協働関係を深める契機となったのではないかと。次年度に区の事業として予算化されたことにより、中・長期の目標に向かって徐々に課題を解決していくことが可能となった。また他部署との横断的な協力関係も生まれていることから、今後の発展が期待される。次年度以降の事業化や縦割り行政からの脱却は協働事業の目的の一つでもあり、その意味で本来の成果があったと評価する。

・実施した全ての取組が概ね成功しており、単年度での協働事業としては評価できる。事業課題（公園数に比べ活動数が少ない、分布に隔たりがある、活動参加者の固定化・減少化）に関しても一定の成果は出ているが、仕組みづくりの確立など単年度では解決が難しい課題も残っている。

・行政と市民団体が良好な連携のもと、協働事業が実施されたことは評価できる。今回の協働事業をきっかけに、市民団体の柔軟な取組みにより、花とみどりのまちづくりが進展することを期待したい。今後も行政との適切な連携のもと、活動の裾野を区民、企業等に拡大することが必要である。

**◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見 ◆**

本事業は、審査の段階から協働事業に適していると判断していたが、事業のプロセス及び結果ともに想定以上であり、行政との協働事業として大きな効果を上げた事例の一つとなったと高く評価する。NPOなどの市民団体と行政では、その機能や性格の違いから、考え方や仕事の進め方に乖離が生じることも多いが、本事業では、綿密な打合せを重ねることで双方が理解し合い、企画内容の変更を含め、実施に向けた相当の努力をしたものと推察される。それにより、柔軟な発想力という団体の利点が十分に活かされたものといえる。

グリーンフェスティバルには、1,000名を超える来場者、14の関係活動団体が参加し、そのネットワーク化が図られたことは、今後の取り組みのうえで意義があった。また、花壇ボランティア講座では、参加者の中から新たな活動団体が結成されるなど大きな効果をもたらした。このような実践事例に基づいたコンサルテーションは、新たな団体の組織化に向け、また、既に活動している団体関係者からも今後期待されることであろう。

本事業の実績をふまえ、コミュニティガーデンづくりの活動が行政施策として継続し、より地域に根付いた活動となること、また、こどもたちはもちろんのこと、家にこもりがちな高齢者や障がい者などが参加しやすく、様々な人々がふれあうきっかけとなる活動に発展していくことを期待したい。

江東区協働事業提案制度 平成28年度実施事業  
江東区区民協働推進会議委員意見書

|              |                            |     |            |
|--------------|----------------------------|-----|------------|
| 事業名          | ことう子育てメッセ                  |     |            |
| 団体名          | ママリングス                     |     |            |
| 担当課名         | 子育て支援課                     | 関係課 | —          |
| 事業費<br>(予算額) | 2,404,975円<br>(2,105,590円) | 行政  | 1,623,970円 |
|              |                            | 団体  | 781,005円   |

※ 事業費には、行政が直接負担した会場・器具使用料を含みます。

◆ 江東区区民協働推進会議 委員意見 ◆

・本事業により構築された市民団体と行政が協働する仕組みを安定的に発展させていくためには、行政側における子どもや子育てについての専門性の継続が必要である。

・地域における子育ては多くの課題をかかえているが、1日限りのイベントでありながら準備や行政との協働の取り組みによる広がりを見ることができた。子育て支援に関する団体間のネットワークを立ち上げる動きにつながったのは成果といえる。行政も団体と対等に取り組んでいた。

・団体が、行政及びこれまで接点のなかった他の子育て支援団体とともに作り上げた協働事業の成功事例といえる。多くの参加団体を取りまとめたコーディネート力と行政の協力・サポート力に脱帽した。行政側の当初の消極的な姿勢から、次年度の事業予算化につながったことは大きな成果である。今後の課題とされる子育て支援団体間の横のつながりについても、「ことう子育てネットワーク」の発足準備が進められており、更なる発展が期待できる。今後、中心になるメンバーが変わっても強いネットワーク力の持続を期待したい。

・当該イベントのポスターを街中で見かけたことから、携わったメンバーの熱心な活動が窺えるとともに、団体と区双方の区特有の課題解決に向けた気持ちが強く伝わってきた。区における子育てイベントの一つとしての継続を期待したい。協働事業としては大成功であったと評価する。

・子育て支援情報の発信という視点では、十分に目的を達成できたと考える。今後、この事業を契機に、関係所管課間での連携を図り、複雑化する子育ての課題への対応力の強化に繋げていくことを期待したい。また、子育てを社会全体で応援する行政や関係団体など多様な主体により、継続的に情報の提供や支援が可能な「地域の子育てのネットワーク」づくり繋げていくことが必要である。

◆ 江東区区民協働推進会議 総合意見 ◆

本事業は、行政との協働にあたっての示唆を与えてくれた。審査の段階では、イベントの規模、運営体制、企画の実効性に対する不安が挙げられ、また、他の子育て関係イベントとの比較から新しい視点が期待された。結果としては、子育て関係団体による1日限りのイベント実施ではなく、子育て当事者の運営参加や関係者のネットワークの構築など様々な視点を見ることができた。

第一は、子育て当事者の主体性と組織化が見えたことである。日頃から様々な悩みを抱える子育て中の方々が、単にイベントに参加するのではなく、企画の段階から当事者として参加し、主体的にイベントに関わっていた。それを子育て関係団体のネットワーク化につなげ、また、今回は必ずしも十分ではなかったが、高齢者、障がい者、多文化共生、環境等の課題と連動させるなど単なる子育てイベントにとどまらない事業となった。

第二は、縦割りになりがちな行政業務において、横の組織連携を図るといって、地域課題を解決していくうえでの重要な役割を果たしたことである。本事業の実施にあたり、担当部署を含め13の部署による6回に及ぶ打合せが行われたが、事業の成功において、行政側の努力も大きかったことは言うまでもない。

本事業が、行政の経常事業に発展することを強く期待するが、「子育てメッセ」というイベント開催を目的とするのではなく、行政・団体の双方に対し、今回見られたように子育てという視点からの地域課題やニーズの掘り起しと住民の主体的な活動に向けた新たな挑戦を引き続き期待したい。